



産卵期に入った大型のメス。吻端が大きく突出し腹部は卵で膨らむ。敦賀市産 全長:約13cm

コイ科 ヒメハヤ属

【全長】15cm

アブラハヤ

学名: *Rhyncoecypris lagowskii steindachneri*

分布域

福井県・岡山県以北の本州に分布する。

生息域

河川の中流～上流域、小川や水路などに生息する。



県内では普通種。生息地は多い。あわら市産

体形はスマートで、鱗は小さく体の表皮内に隠れ表面はヌルヌルする。体色は背面側がやや緑がかかった茶褐色で、腹面は銀白色。眼の後方～尾柄部まで体側中央を黒色の太い縦条が走り、その上部にも金色の縦条が見られる。食性は雑食性で底生動物や落下昆虫・付着藻類などを幅広く食べる。産卵期は春～初夏で集団で産卵する。砂底～砂礫底にメスが頭から突入し産卵、オスが追隨する。その為か産卵期のメスは腹部が大きくなり、吻端が膨らみ産卵が近いことが分かる。

水槽での飼育は容易。餌は配合飼料に慣れ、餌喰いは非常に良い。水槽の環境や人間にも慣れ、多種との混泳にも問題はない。

在来種

純淡水魚

※ 生息環境は広く生息地・生息数とも多い。本県では普通種といえるが、日本海側の分布南限は福井県で、分布上重要種ともいえる。県内の分布境界線は調査していない。今後の課題か。